



愛知教育大学では2007年度に環境配慮の目標・計画を作成し活動に取り組みました。

2007年度環境計画

	環境目標	2007年度環境配慮の計画
1	全学を挙げての環境重視型大学を実現するための体制整備	<p>【環境保全】</p> <p>(1) 大気汚染防止法、騒音振動防止法等の申請を保健環境センターを通して行うようにシステムを変える。</p> <p>(2) 保健環境センターに環境データの集積を行う体制を構築する。</p> <p>(3) 環境保全について学生の参加を推進する。</p> <p>【省資源】</p> <p>(1) 共用できるものは情報交換をして再利用する。</p> <p>【省エネルギー】</p> <p>(1) エネルギー管理標準（エネルギーを消費する機器の管理マニュアル）を作成し組織的な省エネルギーを進める。</p> <p>(2) 夏季一斉休業を実施する。</p> <p>(3) 各講座・専攻等より省エネ委員を選出し、不要な空調や照明等を切る。</p> <p>【労働安全衛生】</p> <p>(1) 勤務時間後の早期退庁を進める。</p> <p>(2) 高圧ガス保安規程を制定し学内の高圧ガスの安全管理を図る。</p>
2	教育大学としての特徴を生かした環境に関する教育研究の推進	<p>【教育・研究】</p> <p>(1) 大学・大学院における環境教育の現状把握と推進方策を検討する。</p> <p>(2) 大学・大学院における環境に関する研究の現状把握と推進方策を検討する。</p> <p>(3) 附属学校園と連携した環境教育プログラムを推進する。</p>
3	豊かな自然環境を保全活用した環境負荷の少ないキャンパスづくり	<p>【環境保全】</p> <p>(1) 実験排水の量、使用薬品名、経路を確定し台帳化の準備をする。</p> <p>(2) アスベスト含有製品の破損とアスベスト含有粉塵の飛散を防止する。</p> <p>【省資源】</p> <p>(1) 用紙の両面使用の推進と裏紙を使用する。</p> <p>(2) プール等大量に水を使う施設の維持管理を強化する。</p> <p>【省エネルギー】</p> <p>(1) 給水量、排水量を把握する。</p> <p>(2) 不在箇所の暖房のバルブを閉止する。</p> <p>(3) 講義室、廊下など人感センサーによる照明コントロールを推進する。</p> <p>(4) クールビズ、ウォームビズを活用する。</p> <p>(5) 昼休みの消灯、事務機器のOFF励行。不使用機器のコンセントを抜く。</p> <p>(6) 節電推進シールを貼り付ける。</p>



3	豊かな自然環境を 保全活用した環境 負荷の少ないキャン パスづくり	【労働安全衛生】
		(1) 産業医、衛生管理者の巡視結果を活用し事故を未然に防ぐ。
		(2) 労働災害や学生の事故の原因解明のためのチェックリストを作成する。
		(3) 救命救急（AED取り扱い）講習会を開催する。
		(4) VDT作業環境を改善する。
		(5) 金属ヒューム、コピートナー等の有害物暴露防止対策を進める。
		(6) 衛生管理者の能力向上のための講習会開催と巡視用チェックリストを作成する。
		【化学物質管理】
		(1) 毒物・劇物の保管状況調査を実施する。
		(2) 有害化学物質・製品の使用状況を法規制対象外も含めて調査する。
		(3) 化学物質等を使う教職員・学生用の安全衛生マニュアルを企画立案する。
		(4) 危険・有害性の少ない試薬等への代替を促進する。
		【防災】
		(1) 災害時に危険な施設の防災マニュアルを作成する。
		【屋外環境】
		(1) 美しい教育研究環境の維持のためキャンパスクリーンデーを実施する。
		(2) 指定場所以外での禁煙を強化する。
		(3) 附属高校ボランティアによる井ヶ谷町周辺のゴミ拾いを実施する。
		(4) 破損箇所は直ちに修理する。
		(5) 校舎中庭へのバイク乗り入れ禁止を徹底する。
		【リサイクル】
		(1) 放置自転車をリサイクルし活用する。
		(2) 新聞、雑誌以外のリサイクル可能な紙を区分収集しゴミ減量と省資源を徹底する。
		【温室効果ガスの削減】
		(1) 退庁時のチェックシートを作成し、電源切り忘れ、防犯などを徹底する。
		(2) アイドリングストップを周知する。
		【廃棄物】
(1) 一般ゴミの分別表示と廃棄ルールを明確化する。		
(2) 環境保全の良い事例の写真展を行う。		
(3) 教育研究系廃棄物の適正処分の推進と安全管理を徹底する。		
(4) 物品納入業者への梱包材引き取りを徹底する。		